

さらに、薬局の取り扱い処方せん枚数別には目立った傾向はみられないが、薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数が増えるほど、実際の後発医薬品への変更割合（薬局ベース）は減少している。

図表 23 後発医薬品への変更状況（取り扱い処方せん枚数別）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
500枚未満	59	32 54.2%	21 35.6%	6 10.2%
500～1000枚未満	140	72 51.4%	61 43.6%	7 5.0%
1000～1500枚未満	135	73 54.1%	52 38.5%	10 7.4%
1500～2000枚未満	81	44 54.3%	31 38.3%	6 7.4%
2000枚以上	134	77 57.5%	45 33.6%	12 9.0%
無回答	-	-	-	-

図表 24 後発医薬品への変更状況（薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
300枚未満	63	40 63.5%	19 30.2%	4 6.3%
300～500枚未満	123	69 56.1%	42 34.1%	12 9.8%
500～1000枚未満	310	167 53.9%	122 39.4%	21 6.8%
1000枚以上	50	20 40.0%	26 52.0%	4 8.0%
無回答	3	2 66.7%	1 33.3%	-

図表 25 後発医薬品への変更状況（平成 18 年 10 月における後発医薬品備蓄品目数別）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
20品目未満	27	15 55.6%	10 37.0%	2 7.4%
20～50品目未満	127	59 46.5%	59 46.5%	9 7.1%
50～100品目未満	164	88 53.7%	65 39.6%	11 6.7%
100品目以上	188	116 61.7%	62 33.0%	10 5.3%
無回答	43	20 46.5%	14 32.6%	9 20.9%

また、主な処方せん発行医療機関（病院・診療所）別に、後発医薬品への変更状況についてみると、それらの処方せんを 1 枚も後発医薬品へ変更しなかった薬局（後発医薬品への変更割合が 0%）は、主な処方せん発行医療機関が病院の薬局では 32.1%、診療所の薬局では 41.3%であり、主な処方せん発行医療機関が診療所の保険薬局の方が、後発医薬品へ一枚も変更しなかった薬局の割合が高い。

また、1 枚以上実際に後発医薬品へ変更した薬局における、後発医薬品への変更割合についてみると、全体的に病院の方が高くなっている。

図表 26 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局（549 薬局）のうち、実際に後発医薬品に変更した割合（主な処方せん発行医療機関別）

